

富田林市ケアセンターの あり方検討について

～検討を始めるにあたって～

富田林市ケアセンターのあり方検討について

～検討を始めるにあたって～

§ 1 ケアセンターの概要

§ 2 なぜあり方を検討するのか

- ① 関連制度の移り変わり
- ② 持続可能な行財政運営への対応

§ 3 なにを検討するのか

§ 1 ケアセンターの概要

1. 土地に関する情報			
所在地	富田林市向陽台1丁目4番30号		
地目	宅地		
敷地面積	12048.90㎡		
法令等に基づく制限	用途地域	第1種低層住居専用地域（市街化区域）	
	建ぺい率	50%	容積率 100%
2. 建物に関する情報			
築年	平成8年	延床面積	10819.56㎡
階数	地上2階、地下1階	構造等	鉄筋コンクリート造

§ 1 ケアセンターの概要

施設構成区分	階	主な施設		
健康づくり・世代間交流施設 (ウェルネス施設)	1F	待合スペース	図書情報コーナー	サロン・和室
		クラフトルーム	フリールーム	栽培温室（外部）
	2F	大会議室	研修室（1,2）	講座室
		ボランティアルーム		
	B	温水（リハビリ）プール	採暖室	トレーニングルーム
		監視員室	プールフロント事務室	ロビー
介護老人保健施設	1F	機能訓練室	レクリエーションルーム	デイルーム
		一般浴室（大）	一般浴室（小）	特別浴室
		サビ°ステーション	理・美容コーナー	食堂
	2F	療養室（4人部屋）	療養室（2人部屋）	療養室（1人部屋）
		サビ°ステーション①	サビ°ステーション②	ホームケア室
事務所	1F	ケアセンター事務室	地域包括支援センター	
	2F	ホームヘルプ推進室	医師会訪問看護	

§ 1 ケアセンターの概要

■利用状況

(1) 健康づくり・世代間交流施設の利用状況
温水プール・トレーニングルーム利用状況

	R2	R1	H30
開館日数	253 日	283 日	305 日
小・中学生	5,452 人	6,186 人	6,568 人
障害者	3,852 人	5,969 人	6,854 人
高齢者	28,643 人	48,426 人	54,482 人
一般	3,408 人	5,948 人	6,124 人
介助者	63 人	67 人	105 人
合計	41,418 人	66,596 人	74,133 人

§ 1 ケアセンターの概要

■利用状況

(2) 介護老人保健施設
入所・短期入所・通所事業利用状況

サービス類型	R2	R1	H30
入所・短期入所	定員 73人、開所 365日	定員 73人、開所 366日	定員 73人、開所 365日
入所	21,936 人	24,755 人	24,346 人
短期入所療養介護 (ショートステイ)	148 人	170 人	289 人
(再掲) 介護予防	(0 人)	(5 人)	(0 人)
通所	定員 40人、開所 306日	定員 40人、開所 308日	定員 40人、開所 306日
通所リハビリテーション (デイケア)	7,995 人	8,395 人	9,506 人
(再掲) 介護予防	(650 人)	(440 人)	(502 人)

§ 2 なぜあり方を検討するのか

① 関連制度の移り変わり

- ・平成 8年 ケアセンター開設
- ・平成12年 介護保険制度施行 … 民間事業者の参入へ
- ・平成18年 指定管理者制度導入

② 持続可能な行財政運営への対応

- ・財政の見通し
- ・費用負担

§ 2 なぜあり方を検討するのか

① 関連制度の移り変わり

・平成 8年 ケアセンター開設

平成元年、政府が策定した「高齢者保健福祉推進10カ年戦略（ゴールドプラン）」を受け、高齢者等が住みなれた我が家や地域を基盤として、健康で長寿の喜びを実感して暮らせる在宅介護サービス供給体制の拠点として整備された。

・平成12年 介護保険制度施行

市町村がサービスの種類や提供機関を決める措置方式からの転換や介護を原因とする社会的入院による医療費の圧迫などへの対応から制度を創設。これにより、利用者自ら契約先を選択できるようになるとともに、多くの民間事業者等が参入することで競争が生まれ、サービスが向上した。

本施設と同じ機能を持つ事業所としては、平成15年に中野町に医療法人 春秋会が、「介護老人保健施設 きし」を開設。

☞ 民間事業者が参入し、利益を生むサービス = 行政が提供すべきサービス？

§ 2 なぜあり方を検討するのか

① 関連制度の移り変わり

・平成18年 指定管理者制度導入

平成15年の地方自治法の改正により、公の施設の管理者に民間事業者を指定することが可能となり、従来の行政仕様によるサービス提供（管理委託方式）から、民間事業者等のノウハウが活かされた行政サービスへと転換していく。

ケアセンターは、当初より「富田林市福祉公社」を指定管理者に指定している。

☞ 指定管理者制度は介護施設でも有効な制度か？

専門的知識や経験が要求される職員が多く必要とされる介護職場では特に給与への影響が大きくなる。

しかし、厳しい財政状況の中では指定管理料を増加させることは困難で、また公共施設は条例による制約があるため、民間施設ほど自由な施設運用ができず、利用料収入の増加も困難。

5年間の総額は増やせない = 5年毎にリセット

§ 2 なぜあり方を検討するのか

② 持続可能な行財政運営への対応

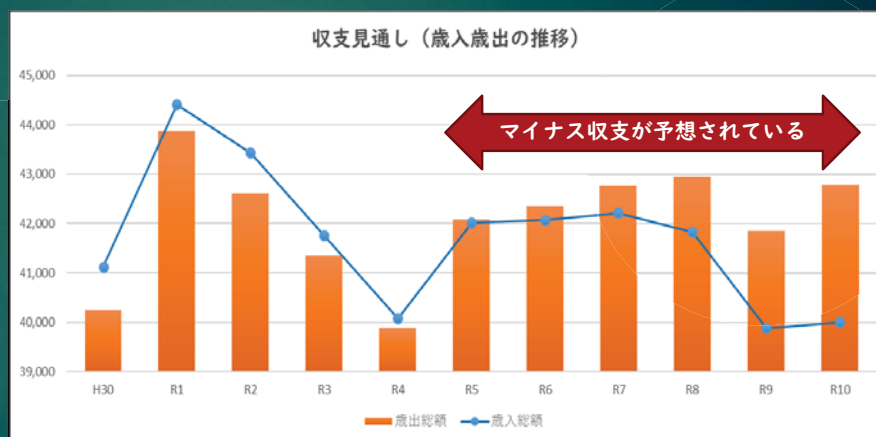
・財政の見通し

市税の減少等

+

扶助費の増加
公共施設の更新等

令和5年からは
赤字の見込み



※「富田林市行財政経営改革ビジョン(R2.11策定)」で使用した推計

	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10
歳入総額	41,127	44,410	43,438	41,760	40,084	42,022	42,071	42,218	41,832	39,887	40,011
歳出総額	40,250	43,859	42,618	41,352	39,885	42,077	42,351	42,762	42,955	41,860	42,782
歳入歳出差引額 (単年度収支)	877	551	820	408	199	▲55	▲280	▲544	▲1,123	▲1,973	▲2,771
	349	▲326	269	▲412	▲209	▲254	▲225	▲264	▲579	▲850	▲798

(単位：百万円)

§ 2 なぜあり方を検討するのか

② 持続可能な行財政運営への対応

・費用負担

イ. 建設費用 … 約60億円 (うち用地取得費用 約5億円)

※建築後30年で大規模改修、同60年で建替えが目安とされる→現在25年目

ロ. 改修費用

改修(修繕)費 … 年間約1,700万円 (H26-30の平均値)

※令和4年度にコージェネレーションシステム改修予定 (約4億円)

二. 運営費用(指定管理料) … 年間約1.26億円

§ 2 なぜあり方を検討するのか

■市の考え方の方向性まとめ

- イ. 介護保険制度施行により、同種のサービスが民間事業者により提供されており、必ずしも行政が提供(指定管理)しなければならない状況なのか?
- ロ. 依然として施設機能のニーズはある。
- ハ. 多額の運営経費を要するウェルネス施設について柔軟に検討する必要がある。
- 二. 介護老人保健施設とウェルネス施設の一体的運営には拘らず、施設(機能)の分離も含めて柔軟に検討する必要がある。



☞ 以上を踏まえて市が目指したいこと…

【公共施設再配置計画・前期(H29)における再配置方針】

- ① 介護老人保健施設機能は維持する。
- ② 健康づくり・世代間交流施設機能は、柔軟にあり方を検討
- ③ 建物は、民間事業者への譲渡等を検討

§ 3 なにを検討するのか

■ 市が目指す姿の具体化

【公共施設再配置計画・前期（H29）における再配置方針】

- ①介護老人保健施設機能は維持する。
- ②健康づくり・世代間交流施設機能は、柔軟にあり方を検討
- ③建物は、民間事業者への譲渡等を検討

①～③の実現には
どのような方法が
あるのか…

・現在の市の検討状況

- ▶ 介護老人保健施設 → 民間事業者と同様、独立採算運営を目指す。
- ▶ ウェルネス施設 → 民間事業者による運営のほか、現行の枠組みを超えたさらなる効果的施設運営

➡まずはサウンディング型市場調査で民間事業者の意見を聴取（12月）

§ 3 なにを検討するのか

■ 市が目指す姿の具体化

サウンディング型市場調査とは…

事業発案段階や事業化段階において、事業内容や事業スキーム等に関して、直接の対話により民間事業者の意見や新たな提案の把握等を行うことで、対象事業の検討を進展させるための情報収集を目的とした手法。

☞サウンディング調査で知りたいこと

- ① 介護施設、ウェルネス施設の両機能に対する市場の興味【**民営可能性**】
- ② 現在の形以外のウェルネス施設の活用方法【**ウェルネス活用案**】
- ③ 建物の取得意向【**譲渡可能性**】
- ④ 使用対価【**資産価値**】
- ⑤ その他施設の有効な活用に資する民間的発想

§ 3 なにを検討するのか

■ 市が目指す姿の具体化

・現時点での想定スケジュール

R 3.12 サンディング調査実施

R 4.3 上記調査を踏まえた進め方の検討（第2回検討委員会）

R 4.4
～R 4.12 サウンディング調査の結果によっては業者選定等

R 5.3 指定期間満了年につき、R 6年度以降の方向性の決定